

事例項目	指定管理者選定委員会における議事録に総評部分が欠落していることについて
事例発生日等	平成23(2011)年12月5日
担当課	生涯学習部 スポーツ振興課
事例概要	<p>【平成23（2011）年10月6日】 第1回の門真市立青少年運動広場および門真市立テニスコート指定管理者選定委員会が開催され、指定管理者に応募があった6団体からの申請書類を審査し、うち3団体を第二次審査の対象とすることを決定した。</p> <p>【平成23（2011）年10月13日】 門真市立青少年運動広場および門真市立テニスコート指定管理者選定委員会が開催され、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの指定管理者の候補者として、教育委員会に意見具申する団体及び次席候補となる団体を決定した。</p> <p>【平成23年（2011）年12月5日】 指定管理者候補者選定委員会の議事録を、議員の求めに応じて提出したところ、一般的な選定委員会において議論されるべきである、選定に至る「総評」が抜けており、意図的に情報を隠しているのではないかと議員から指摘があった。</p>
	<p>【平成23（2011）年12月6日】 謝罪文を作成し当該議員に提出した。【資料(2)-37-1】</p>
発生原因	<p>第二次審査において、選定委員の採点結果の集計作業に時間を要するため、事務局からの提案により、委員長から「集計作業中は休憩・自席待機の時間とする」旨の発言がなされ、事務局は記録媒体の作動を停止させた。</p> <p>その間、委員間で第1次・第2次審査にかかる意見交換が自然発生的になされ、今回候補者となった団体について、事前調査、認識、提案内容のレベルに関する評価が他の団体よりも高く、また合計得点においても最上位であったことから、委員全員が当該団体を候補者とする一定結論に至り、他の例のような「総評」としての議論を改めて行うことがなかった。</p> <p>議事録についても、録音がなされていなかったため、「総評」として残すことはなかった。</p>
再発防止対策	<p>議事録作成にあたっては、市民等に誤解を与えるような取り扱いをすることなく、正しく記録として残し、「見える化」を前提に情報の公開を原則にした対応を今後していきたい。</p> <p>また、議事次第に「総評」を明示し、今回のような休憩時間中で委員間で議論がなされたとしても、改めて事務局より「総評」を求めるとする。</p>